

事 務 連 絡

平成 30 年 6 月 29 日

各 $\left(\begin{array}{c} \text{都 道 府 県} \\ \text{指 定 都 市} \\ \text{中 核 市} \end{array} \right)$

障害保健福祉主管部局 御中

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部
企画課自立支援振興室

公衆浴場における入浴着を着用した入浴等への理解の促進について（周知）

乳がん患者の方が入浴時着用する入浴着や入れ墨（タトゥー）がある外国人旅行者等の入浴に関しては、「ユニバーサル観光の推進について」（平成 23 年 1 月 17 日総務省・厚生労働省・国土交通省事務連絡）や「入れ墨（タトゥー）がある外国人旅行者の入浴に関する対応について」（平成 28 年 3 月 18 日厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部生活衛生課事務連絡）により、理解を促進し不当な理由により入浴拒否が生じないように、周知徹底をお願いするとともに、オストメイトの公衆浴場への入浴についても理解を促してきました。（参考資料参照）

今般、同課より、各都道府県、政令市、特別区の生活衛生担当課に対して別紙のとおり周知されていますので、御了知願います。

貴部局におかれましても、公衆浴場における入浴着の着用等について、消費者の十分な理解が得られますよう、生活衛生担当課と協力のうえ、周知徹底をよろしくお願いいたします。